

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	電気通信工学科							
科目名	リメディアル数学							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	1年次前期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/必修科目(情報システムコース)							
担当者	喜屋武 毅							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整式の変形ができる。(A1)</li> <li>・分数式の計算ができる。(A1)</li> <li>・簡単な方程式、不等式が解ける。(A1)</li> <li>・簡単な関数のグラフが描ける。(A1)</li> <li>・三角比がわかる。(A1)</li> </ul>							
日程と内容	04/12 導入講義 04/19 因数分解+整式の除法 04/26 剰余の定理と因数定理 05/03 分数式の計算・実数 05/10 いろいろな数(実数、平方根、複素数) 05/17 2次方程式、解と係数の関係、いろいろな方程式 05/24 不等式の性質・解法と不等式の証明 05/31 二次関数と二次不等式 06/07 いろいろな関数 06/14 臨時試験(中間試験) 06/21 指数関数 06/28 対数関数 07/05 加法定理とその応用 07/12 直線の方程式 07/19 二次曲線 07/26 定期試験							
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%	臨時試験	30%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	0%	計	100%				
授業到達目標の達成度	講義内容については、達成目標のいずれの項目も概ね達成している。							
反省点	学力格差から一部の学生には、授業内容が平易になりがちで、授業内容に興味を引き出せていない状況があったかも知れない。習熟度の違いを埋めるような補充問題を準備する等、学生の興味を引き出せるような講義になるように改善に努める。また、シラバス通りでないとのことだが、学生の理解度を図りながらペースを変え、内容は網羅しており、特に問題視していない。							
来年度の計画	授業内容に関しては現状の削減予定はないが、講義内容を精査して授業への興味や理解度が深まるようにする。							
授業評価アンケートに対するコメント	アンケートの結果から、授業内容に興味を引き出せていないようである。学生の学力格差が大きく、授業進行に満足していない学生も見られたようである。学生の積極性や理解度の度合いによって、演習問題を課すなどしてできる学生の満足度を高めるように工夫が必要である。							
履修登録者数	68名	定期試験受験者数	66名	合格者数	62名	合格率	94%	